

じんけんしゅうかん じんけんけいはつ てん はし かわ じょうえいかい

# ●人権週間「人権啓発パネル展」・「橋のない川」上映会

じんけんけいはつ てん がつ か にち  
人権啓発パネル展 (12月4日～11日)



えいが はし かわ じょうえい がつ か にち  
映画「橋のない川」上映 (12月4日～11日)

「橋のない川」のパネル展と同時開催したこの上映会は、初めての試みとして人権センターで実施しました。

「橋のない川」は今井正 監督と東 陽一監督が手がけた2つの作品があります。

今回上映したのは、東 陽一監督の作品です。

人権センターのフリースペースにスクリーンを設置し、ゆっくり観ていただきました。



けんさくしゃ すみい  
原作者の住井すゑさんのことば  
じんるい ぼせい ひといじょう ひと  
「人類の母性は、人以上の人を  
うまず、人以下の人をうまず」

そうだね！



かい ほうしゅつばん しゃ てい きょう  
解放出版社提供



ねんせいさく  
1992年制作

げんさくしゃ すみい  
原作者：住井すゑ

かん とく ひがし よういち  
監督：東陽一

しゅつえんしゃ  
出演者

おおたになおこ なかむらたまお  
大谷直子、中村玉緒、

すぎもととつた わたべあつろう  
杉本哲太、渡部篤郎、

たかおかさき たつみたくろう  
高岡早紀、辰巳琢朗ほか

はし かわ  
「橋のない川」のビデオはじっくり  
み おも こんかい とり  
観たいと思っていたので、今回の取  
く よ さべつ  
組みは良かったです。「差別」はいけ  
ないと、みんな頭では思っているけど  
あたま おも げん  
実は違います。「人権を大切に！」と  
じつ ちが じんけん たいせつ  
あえて言わなくても良いような世の中  
い よ よ なか  
になってほしいと思います。  
おも  
「思いやり」を持ち、困っている人に  
おも も こま ひと  
は自然と手をさしのべることのできる  
しぜん て  
人ばかりになってほしいものです。  
ひと

すうじゅうねん み  
数十年ぶりに観ました。  
むね くる ばめん おお  
胸が苦しくなる場面が多い  
い ま わかし  
のですが、今は昔とちがいで、  
せんしょうご き  
賤称語も聞くこともなく、  
ずいぶん減ったなと思いま  
へ おも  
す。このような時代があっ  
じだい  
たことをしっかり知ってお  
くことは大事だなと思いま  
だいじ おも  
した。いい機会でした。  
きかい

はじ み わね あつ えいが  
初めて観ましたが、とても胸が熱くなる映画でした。  
しょうがくせい とし けいせんまち がくしゅう おも だ  
小学生の時に、桂川町をフィールドワークして学習したことを思い出しました。  
まち しょうがくせい おどろ  
“この町でもこのようなことがあったのか”と小学生ながらに驚き、くやしい  
おも  
思いをしたことがよみがえってきました。  
えいが さべつ じつたい とく ちい こ  
この映画は、いくつも差別の実態がちりばめられており、特に小さな子たちが  
い さべつ よくあつ すがた  
言われのない差別に抑圧されている姿はつらいものがありました。  
わたし ぶらくさべつ おも じよせい さべつ がいこくじん さべつ しょうがいしゃ さべつ  
私も「部落差別はダメ」と思っているけど、女性差別、外国人差別、障害者差別  
き くいしき おこな きょう  
など気づかないところで無意識に行っているやもしれません。今日は、そんな自  
ぶん み なお きかい  
分を見つめ直す機会になりました。